

第38回 若い芽のコンサート

アルファ



The 38th
Concert
by Fresh Buds

京葉銀行
PRESENTS

日時 令和7年9月28日(日) 開演 14:00 場所 千葉県文化会館 大ホール

Percussion



【パーカッション】
安藤 巴
Tomo Ando

1997年千葉県柏市生まれ。音楽家、打楽器奏者。幼い頃から多様な音楽に親しみ、東京藝術大学では打楽器専攻にてクラシック音楽を学ぶ。現在はオーケストラ、現代音楽、打楽器独奏、即興音楽のフィールドを自由に横断しながら演奏。2023年に南房総に拠点を移し「安藤巴と楠瀬亮」として数多くのイベントに出演するほか、土地にまつわる言葉と音楽を結び取り組み「安房にて」を企画。2024年には東京・京都で「安藤巴 パーカッションソロ」を開催し、同年8月には芥川作曲賞選考会にて打楽器協奏曲のソリストを務め、新日フィルと共演。第37回日本管打楽器コンクール、パーカッション部門第1位。千葉県銚子市在住。

か、土地にまつわる言葉と音楽を結び取り組み「安房にて」を企画。2024年には東京・京都で「安藤巴 パーカッションソロ」を開催し、同年8月には芥川作曲賞選考会にて打楽器協奏曲のソリストを務め、新日フィルと共演。第37回日本管打楽器コンクール、パーカッション部門第1位。千葉県銚子市在住。

【ファゴット】
古谷 拳一
Kenichi Furuya

Fagott



1994年生まれ、千葉県船橋市出身。9歳でファゴットと出会い、千葉県立幕張総合高等学校を経て、東京藝術大学に進学。在学中にアカンサス賞および同声会賞を受賞し、同大学を卒業。その後、スイス文化庁の奨学生としてチューリッヒ芸術大学大学院に進学し、ソリストコースを満場一致の最高点で修了。留学中にはベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のカラヤン・アカデミーのオーディションに合格。日本ツアーやジルベスター・コンサートなどで、ベルリン・フィルの一員として演奏を行った。室内楽では、木管五重奏「Pacific Quintet」のメンバーとしてハンス・アイスラー音楽大学(ベルリン)室内楽科を修了。現在は、読売日本交響楽団首席ファゴット奏者およびJapan National Orchestraメンバーとして活躍している。主な受賞歴に、スイス・ムニ国際ファゴットコンクール優勝、プラハの春国際音楽コンクール第2位、Pacific Quintetとしてはミュンヘン国際音楽コンクール第2位・聴衆賞、カール・ニールセン国際コンクール第2位、Sound & Explanationコンクール優勝など、ソリスト・室内楽の両面で優れた実績を残している。これまでに、ドイツ文化財団、スイス文化庁、キーファー＝ハブリッツェル財団、ヤマハ音楽振興会より奨学金を授与された。

Violin



【ヴァイオリン】
伊藤 亮太郎
Ryotaro Ito

桐朋学園ソリスト・ディプロマ・コース修了。第58回日本音楽コンクール・ヴァイオリン部門第1位、あわせて黒柳賞、レウカディア賞を受賞。第1回ストラディヴァリウスコンクール第1位。奨学金を得てアスペン国際音楽祭に参加。1995年ロンドンに留学し、ロンドン・アムステルダムなどでリサイタルを行う。日中文化交流コンサートのソリストとして中国にて公演。2002年サントリーホールにおいてリサイタルを開催し、内外の高い評価を得る。1997年ストリング・カルテットARCOを結成、第1ヴァイオリン奏者として室内楽の分野でも活躍。2000年に「アンダンテ・カンタービレ」をリリース。ヴァイオリンを故江藤俊哉、堀正文、澤和樹、ペラ・カーナ、ジョルジュ・バウクの各氏に、室内楽を東京カルテット、山崎伸子、原田幸一郎、高関健の各氏に師事。これまでにソリストとしてNHK交響楽団、札幌交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、東京交響楽団と共演。オクタヴィアレコードよりピアニストの清水和音氏と共にベートーヴェンのヴァイオリンソナタ集をリリースする。2005年より2015年3月まで札幌交響楽団コンサートマスター、2015年より2024年3月までNHK交響楽団コンサートマスターをつとめる。現在はソロ、室内楽、ゲストコンサートマスターなど幅広い演奏活動を展開している。2025年4月より昭和音楽大学特任教授を務めるほか昭和音楽大学ストリングスアカデミー主任教授、桐朋学園大学非常勤講師として後進の指導にあたっている。

GUEST

Conductor



【指揮】
太田 弦
Gen Ohta

©ai ueda

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。東京藝術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を卒業。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、パーヴォ・ヤルヴィなどの各氏のレッスンを受講する。これまでに読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などを指揮、今後さらなる活躍が期待される若手指揮者筆頭。2019年4月から2022年3月まで大阪交響楽団正指揮者を務める。2023年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に、2024年4月より九州交響楽団首席指揮者に就任。2021年2月、オクタヴィアレコードより交響曲 第8(9番 八長調 D944 「ザ・グレイ」(新日本フィルハーモニー交響楽団公演ライブ収録)をリリース。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言明けに行われた公演の緊張感の中、太田のエネルギー溢れる「グレイ」が聴衆の話題をさらった。2025年、第23回齋藤秀雄メモリアル基金賞(指揮部門)を歴代最年少で受賞。



京葉銀行は若い芽の
コンサートを応援しています。

入場無料

京葉銀行
シート

SDGsの中の「質の高い教育をみんなに」の取り組みとして、高校生以下の子どもたちに音楽を聴く機会を提供します。高校生以下の学生及び同伴の保護者の方は往復はがきに「シート希望」とご明記ください。

お申し込み
方法

往復はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望者数(1通につき4名まで)、返信用あて先を明記し下記へ郵送※自由席となります。※消せるボールペン使用不可〒260-8661(住所略可)(公財)千葉県文化振興財団「若い芽のコンサート係」締め切り:9月8日(月)必着※応募多数の場合は抽選となります。※未就学児の入場はご遠慮ください。※公共の交通機関をご利用ください。※いただきました個人情報、抽選結果の連絡に使用させていただきます。

往復はがき
による
申し込み

演奏曲目

- 千葉交響楽団
シューベルト:「ロザムンデ」序曲 作品26(D.797)
- 安藤 巴
北爪道夫:《サイド・バイ・サイド》
打楽器ソロとオーケストラのためのヴァージョンI
- 古谷 拳一
アンドレ・ジョリヴェ:ファゴット協奏曲
- 伊藤 亮太郎「ゲスト」
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64(MWV O 14)



公益財団法人

千葉県文化振興財団

主催: 公益財団法人千葉県文化振興財団
後援: 千葉県、千葉市、千葉市教育委員会、船橋市教育委員会、
柏市教育委員会、NHK千葉放送局

協賛: 京葉銀行

協力: 公益財団法人千葉交響楽団

お問合わせ: 公益財団法人千葉県文化振興財団 TEL:043-222-0077

※曲目・曲順等は変更になる場合がございます。予めご了承ください。